

平成30年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	袖ヶ浦市立代宿児童館				
施設担当課名	子育て支援課				
指定管理者名	代宿区				
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間のうち3年目）				
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 一部導入 <input checked="" type="checkbox"/> なし		※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設		

1 施設の概要

施設の所在地	袖ヶ浦市代宿75番地1				
施設の設置目的	子どもの遊び場の提供				
指定管理業務内容	(1) 施設・設備の維持管理に関すること (2) 施設の運営に関すること (3) 利用の許可に関すること (4) 危機管理に関すること (5) 事業計画・報告書等の提出に関すること (6) モニタリングの実施に関すること (7) 情報公開・個人情報の保護に関すること (8) 各種統計調査資料・環境調査等作成に関すること				

2 利用状況

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
開館日数(日)	293	290	99.0%	292	99.7%
施設利用者数(人)	5,500	5,882	106.9%	5,464	107.7%
貸室(設備)稼働率(%)	—	—	—	—	—
事業開催数	11	11	100.0%	11	100.0%

3 施設の経営状況

(単位：千円)

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
指定管理料	2,664	2,664	100.0%	2,664	100.0%
利用者当たり管理コスト	0.48	0.45	93.5%	0.48	94.6%
利用者当たり自治体負担コスト	0.48	0.45	93.5%	0.49	92.9%

[評価結果]

評価項目	評価基準	自己評価	担当課評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか	A	A
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	A	A
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	A
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	A	A
(2) 利用[使用]料金	利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	-	-
3 保守点検並びに清掃等業務等			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	B	A
(2) 清掃業務・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか	A	A
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	B	B
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	A
4 事業の実施に関する業務			
(1) 指定事業	基準に基づく事業が適切に行われたか	-	-
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	A	A
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	A
I の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 12 個》	10個	A
* 指定管理者の自己評価	ほわりんの活動は、お母さんと幼児のコミュニケーションを取る遊びの回数を増やし、利用者の評価も高かった。		
* 施設担当課の評価	施設の設置目的を達成するため、利用者の利便性の向上や環境の整備に積極的に取り組んでおり、指定管理者としての役割を十分果たしている。		
II サービスの質の評価			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	A
2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	A	A
3 運営業務 (貸出状況、接客対応等)	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	A	A
4 指定・自主事業(事業内容の質)	実施された事業内容は、質の高いものであったか	A	A
II の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 4 個》	4個	A
* 指定管理者の自己評価	利用者アンケートは、館内の清潔度を除き、各項目とも過半数が「A そう思う」と回答し、利用者の満足度は高い。管理指導員の意識も高まってきている。施設の経年劣化はあるが、さらに清掃に力を入れる必要がある。		
* 施設担当課の評価	利用者満足度は、引き続き高い水準を維持しているものと見受けられる。限られた条件の中で質の高いサービスが提供されているものと判断する。		

総合評価		I・II を合わせた総合評価	自己評価	担当課評価
			A	A
総合評価に係る 総括意見	指定管理者	管理人には、常に注意を促し、館内の維持・管理をお願いしているだけでなく、子どもたちが安心・安全に遊べることを最優先に考え、行動するように指導している。屋外の遊具については、点検方法や維持管理など改善すべき点はあるが、それ以外は概ね問題なく運営している。		
	施設担当課	限られた予算の中で、経費の削減に努める一方で、効率的かつ効果的な施設運営を常に心がけており、質の高い施設運営が行われているものと判断する。		
その他特記事項 (成果・改善等)	指定管理者	室内の掲示物は、壁紙に画紙やセロテープで貼るのではなく、コルクボード板を購入して貼り、以前より利用者から見やすいとの評価を得ている。また、屋外に花壇を作り、季節毎に色々な花を観賞できるようにした。		
	施設担当課	施設利用者は一部の地区に偏っており、また老朽化に伴う想定外の事故等も予想されることを踏まえると、今後の施設の運営方針を決定することが喫緊の課題である。		

《評価区分》

①評価基準	A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である
②総括	A (優良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である B (良好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている
③総合評価	A (優良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である B (良好) = 総括がすべてB以上である C (課題含) = 総括がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている